

ヴィオラ・チェロ・ピアノによる室内楽コンサート

室内楽の午後

～ショパンの室内楽曲にヴィオラを交えて～



佐々木 真史／ヴィオラ

1993年、東京芸術大学卒業。1999年まで東京芸術大学管弦楽研究部講師。その間、各地のオーケストラで客演首席奏者を務める。1998年彦根市文化プラザの主催によりソロリサイタルを行う。1999～2011年仙台フィルハーモニー管弦楽団首席奏者に就任。2002年仙台と東京においてピアノの國谷尊之氏とデュオリサイタルを開催。またソリストとして仙台フィルの定期演奏会等に出演した。これまでにヴァイオリンを鈴木嵯峨子氏、ヴィオラを小国英樹、浅妻文樹、川崎和憲の各氏に、室内楽を岡山潔氏に師事。現在、バッハ協会管弦楽団首席奏者。彦根エコーオーケストラ代表。鎌倉教会音楽プロデューサー。(公財)千葉交響楽団契約首席ヴィオラ奏者。

海老澤 洋三／チェロ

東京芸大別科修了、第6回ベストプレーヤーズコンテスト奨励賞、第10回JILA音楽コンクール第3位、現在(公財)千葉交響楽団楽団員。横浜シンフォニエッタシーズンメンバー。2014年アフィニス夏の音楽祭に参加。千葉大などでオーケストラ指導も行っている。これまでに山崎伸子、金木博幸、黒川健、渡部宏、北本秀樹、千本博愛の各氏に師事。



草野 由美子／ピアノ

国立音楽大学附属中学校、附属高等学校音楽科、国立音楽大学ピアノ専攻卒業。ポーランド政府給費留学生として1989年ポーランド国立ショパン音楽アカデミー(現ショパン音楽大学)に留学。2002年より2年間、東京外国語大学ポーランド語学科の研究生として在籍、シマノフスキの研究に取り組み研究論文を執筆。シマノフスキの演奏をライフワークとしてリサイタルや室内楽を中心とした活動を行っている。今野信子、宅孝二、細川哲郎、カジミエシュ・ゲルジョド、ラミロ・サンジネス、マリア・ストイェク各氏に師事。

令和元年 12月7日(土) 16:00 開演 (15:30 開場)

～プログラム～

カロル・シマノフスキ K.Szymanowski
《メトープ》作品29より 第一曲 セイレーンの島

フリデリク・ショパン F.Chopin
チェロ・ソナタ ト短調 作品65

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン L.v.Beethoven
2つのオブリガート眼鏡付きの二重奏曲 変木長調 WoO32(ヴィオラとチェロのための作品)

フリデリク・ショパン F.Chopin
ピアノ・トリオ ト短調 作品8



JR「原宿駅」表参道口 徒歩5分
東京メトロ「明治神宮前駅」出口5 徒歩2分

料金： 3,000円(全席自由) お問い合わせ： TEL/FAX：044-455-4639(草野)
E-mail：fpyumiko@fantasy.plala.or.jp

会場：
カーサ・モーツァルト
東京都渋谷区神宮前 1-10-23 3階
<https://casamoz.org/>



日本・ポーランド国交樹立100周年記念事業



後援：ポーランド広報文化センター